日本工学院八王子専門学校開講年度		2019年度(平成31年度)		科目名	制作基礎1				
科目基礎情報									
開設学科	マンガ・アニメーション科四年制		コース名	なし			開設期	前期	
対象年次	1年次		科目区分	必修			時間数	90時間	
単位数	3単位		授業形態	実習					
教科書/教材	参考書・参考資料等は授業中に指示する								

担当教員情報

担当教員 福島 その子 実務経験の有無・職種 有・マンガ家

学習目的

デジタル描画系ツールでの使用方法を理解し、マンガ/アニメーション/イラストレーションまたはゲームなどの各業界で必要とされる技術の基礎を身につけることを目的とする。授業内ではまずイラストやマンガなどの作品を制作し、納品することが第一の目的である。デジタルツールを使用した制作、そして成果物の納品が現代の主流となっているのでその役割はとりわけ重要である。授業内で学習し、実践する点は多岐に渡るが、ツールの適切な使用方法や、状況やオーダーに応じたキャンバスと解像度、納品フォーマットの設定などが基礎部分となる。

到達目標

上記の学習目的で示したClipStudioPaintの基礎技術を身につけ、それを使用して様々な企業やクライアントに求められる作品を制作できるようになることを目標とする。イラスト作品においてはモノクロやカラー、人物、背景物などの作品を制作して納品できることが目標である。デジタルの作品を制作する上で必要なレイヤー構造や効率的な制作の進め方を知り、応用することができるようになる。

教育方法等

デジタルツールを使用したマンガやイラスト制作の基礎技術を学びながら、自らその技術を駆使して作品を制作し、提出していく。各授業 の前半ではツールの扱い方についてや応用方法の紹介を実施し、後半でそれを踏まえて学生自身が作品を描いて提出するスタイルとなる。 課題によっては提出までの制作期間は異なる。また、提出した課題は講師からの講評を実施する。

課題の未提出(特に無断での未提出)はクライアントワークでは厳禁となるため大きく減点する。課題は毎回の提出を必須とし、事情や相談がある場合は必ず講師まで申し出ること。課題のガイドラインはその都度説明するが、大きく逸脱していると判断した場合は例外を除けば減点となる。授業中のインターネット(個人所有のスマートフォンやタブレット含む)を禁止する。制作に必要になる場合は適宜申請をすること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

	種別	割合	備 考
評	試験・課題	50%	課題の提出と完成度を総合的に評価する
価	小テスト	%	
方	レポート	%	
法	成果発表 (口頭・実技)	%	
	平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

授業計画(1回~15回)

	授業内容	各回の到達目標
1 🗓	概要説明/ClipStudioPaint基礎(1)	機材の使用方法やリテラシーについて/パレットやツール、描画モード、解像度など
2 🗓	ClipStudioPaint基礎(2)	ツールの詳細説明。様々なツールを使用したイラスト制作
3 🗓	レイヤー機能の説明+線画	レイヤー機能の説明/下書き~ペン入れ
4 🗆	モノクロ作品制作(1)	モノクロモードの説明/トーンやグラデーションレイヤーを使用したモノクロイラスト制作
5 回	モノクロ作品制作(2)	モノクロモードの説明/トーンやグラデーションレイヤーを使用したモノクロイラスト制作
6 回	カラーイラスト制作(1)	アニメ塗りでのカラーイラスト制作
7 回	カラーイラスト制作(2)	同上/追加機能を駆使したカラーイラスト制作
8 🗉	素材の使い方と作り方	素材を使用したイラスト制作/著作権について
9 回	写真から線画を起こす(1)	写真を取り込んでトレースし、線画に起す/食べ物を描く
10回	写真から線画を起こす(2)	同上/建物を描く
110	パース定規の使い方	パース定規で一点透視図法の道路を作成する
12回	背景に人を配置する	前回制作したものに人物を配置する
13回	背景つきカラーイラスト制作(1)	これまでの授業内容を踏まえて背景入りの一枚絵を制作する
14回	背景つきカラーイラスト制作(2)	これまでの授業内容を踏まえて背景入りの一枚絵を制作する
15回	背景つきカラーイラスト制作(3)	これまでの授業内容を踏まえて背景入りの一枚絵を制作する